

## 令和3年度 田原市総合教育会議 議事録

- 1 日 時 令和3年12月21日(火) 午後1時30分～午後2時56分
- 2 場 所 田原市役所 南庁舎6階 講堂
- 3 内 容  
報告事項 (1) いじめ・不登校問題の現況と本市の対応方針について  
(2) 部活動見直しに向けた今年度の取り組みと今後の予定について  
その他

- 4 出席者
- |               |        |
|---------------|--------|
| 市 長           | 山下 政良  |
| 教育委員会 教育長     | 鈴木 欽也  |
| 教育委員会 教育長職務代理 | 高崎 佐智江 |
| 教育委員会 委員      | 金田 真也  |
| 教育委員会 委員      | 太田 孝雄  |
| 教育委員会 委員      | 天野 千栄子 |

- 5 会議構成員以外の出席者及び事務局
- |                |       |
|----------------|-------|
| 企画部長           | 石川 恵史 |
| 教育部長           | 増山 禎之 |
| 企画部企画課長        | 松井 茂明 |
| 教育部教育総務課長      | 大羽 浩和 |
| 教育部学校教育課長      | 近藤 智彦 |
| 企画部企画課課長補佐兼係長  | 佐々木 豊 |
| 教育部教育総務課教育総務係長 | 彦坂 幸子 |

- 6 傍聴人  
なし

- 7 協議の経過  
(企画部長)

時間となりましたので、ただ今から令和3年度田原市総合教育会議を始めさせていただきます。それでは、始めに、山下市長からあいさつを申し上げます。

(市長)

新型コロナウイルス感染症のオミクロン株がアメリカやイギリスで増加しており、改めてマスクと手指消毒が重要であると感じています。今後、成人式などを控えていますので感染防止対策をしっかりと行うとともに、3回目のワクチン接種についても交差接種を含めて対応を進めていきます。年末年始に入りますが新型コロナウイルスへの感染や風邪などを引かないようにしていきたい。

(企画部長)

ありがとうございました。

それでは、議事についての進行は、本会議の議長であります市長にお願いいたします。

市長、よろしく申し上げます。

(市長)

それでは、本日は、議事事項はございませんので、報告事項に入ります。(1) いじめ・不登校問題の現況と本市の対応方針について、事務局から説明をお願いします。

(学校教育課長から (1) について説明)

(市長)

ただいま、いじめ・不登校問題の現況と本市の対応方針について、事務局から説明がありました。ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

(太田委員)

いじめの認知について、本人や保護者からの訴えのほか、例えば友達や教職員による認知の割合はどの程度ですか。

(学校教育課長)

正確な数字は持ち合わせていませんが、担任教員による認知や学期ごとのアンケートにより認知しています。

(太田委員)

SNSなど学校生活から離れた所での問題は把握しにくいのではないのでしょうか。このようないじめが、子どもたちの悩みにつながっていきますので、それを周囲がどのように把握するかが課題となると感じました。

(教育長)

中学生や小学校高学年は大半がスマホを持っており、持っていないと友達との会話についていけないような状況となっています。上手にブレーキをかけたり、使い方を決めたりすることが重要で、いじめだけではなく生活が心配です。学校教育だけではなく家庭とも協力した啓発が必要であると考えています。

(高崎委員)

いじめている方はたいしたことないと思っても、いじめられた本人や保護者にとっては非常に大きな問題になっていると思います。保護者にとっては学校とお話しすることはハードルが高いため、コミュニケーションを上手にとったり、地域で大人の目があるような輪ができたりすればいいと思います。

(天野委員)

福江中でも不登校や教室に入れない子がいるが、野田にあるくすのき教室までの送迎が距離的に難しいため、校内にそういった子のためのラベンダー教室を作成したそうです。コミュニティスクールでも、そういった生徒の手助けができればいいなと思います。

教育サポートセンターの教育相談が増加する時期は把握していますか。

(学校教育課長)

細かなデータはありませんが、年度初めや年度が始まってしばらく経った状態での相談件数が多いと聞いています。

(金田委員)

不登校のため中学校へ行かせないことを決めた保護者がいると聞いていますので、一人で悩むのではなく相談ができる場所があればいいと思います。

(市長)

ありがとうございました。それでは、(2)部活動見直しに向けた今年度の取り組みと今後の予定について、事務局から説明をお願いします。

(学校教育課長から(2)について説明)

(市長)

ただいま、部活動見直しに向けた今年度の取り組みと今後の予定について、事務局から説明がありました。ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

(教育長)

休日の活動について、学校外のクラブ活動や平日の部活動などから子どもたちが選択できる点について説明してください。

(学校教育課長)

休日の活動については、さまざまなことが考えられています。平日の部活動はこのまま実施し、休日も同じ活動をやりたい場合はクラブに加入すれば可能で、休日は違う活動を行いたい場合はそれも可能です。現在行っているクラブを含めて休日の活動ということと考えており、可能な活動から実施していきたいと思います。文化協会やスポーツ協会にも検討に入っている理由は、子どもが参加できる活動を紹介していただき、子どもに周知するためです。本来は受け皿を作ってからスタートすべきかもしれませんが、令和7年度を目指して同時進行で検討を進めたいと考えています。

(市長)

子どもたちの意見はどうでしょうか。

(学校教育課長)

さまざまな意見があり、部活動をやりたい子もいますが、土曜日は休みたいという意見も多くありました。

(金田委員)

部活動がなくなることは大変なことだと思いますが、こういったことが進んでいけば、逆に子どもたちの文化面やスポーツ面での可能性が広がっていくのではないかと感じました。具体的にどのような環境整備を検討していますか。

(学校教育課長)

まずは、子どもたちが選択できるものを提案していただき、少しずつ増やしていきたい。新たに何かを作るのではなく、地域や団体の方に理解していただけるような環境を作っていきたいと考えています。

(高崎委員)

徐々に浸透させていくことが大事なことだと思います。部活動に費やして育った部分の代わりに失ったものもあるため、子どもの可能性を考えるとボランティアなど選択肢を増やすことは、子どもの教育にとって大事だと思います。退職された先生に協力していただき、文化面

や運動面など、子どもの好奇心が育つような活動を切に願います。

(太田委員)

非常に大きな問題でご苦労されていると思います。令和3年度に部活動の時間を少なくしたが、現場の子ども、保護者、教員の声はどうか。また、受け皿や大会などの課題について令和7年度までの年度ごとの目標を定めた方が理解を得やすいのではないかと思います。

(学校教育課長)

子どもについては、アンケートにより意見を聞いています。教員については意見が分かれています。多くは日々の業務の多忙化解消につながったことで、肯定的な意見が多いです。今後、動き出しながら課題を出しながら3年間かけて移行していきたいと考えています。

(市長)

生涯学習の観点で教育委員会の中で調整を進めていますか。

(学校教育課長)

検討委員会には生涯学習課長やスポーツ課長も参加しており、今後も具体的に連携を図って進めてまいります。

(教育部長)

文化協会、スポーツ協会から積極的に関わってきたいという旨を聞いています。まずは、子どもたちに文化協会のメニューを提供し、体制を整えれば部活動に対応した活動ができるのではないかと調整をしているところです。

(太田委員)

文化協会も高齢化しており、新しい風を入れることが課題となっています。現在は、成章高校写真部とタイアップしてイベントを行っていますが、お互いウインウインの関係で活性化の突破口としてつながっていければいいかと思っています。

(高崎委員)

文化部は賞状をもらう機会があまりないため、文化協会が関わっていただければ嬉しいと思います。

(市長)

学校教育における部活と、生涯学習の民間活動とは切っても切れない関係です。部活だけで考えると行き詰ってしまうので、子どもがやりたいことを伸ばすように教育委員会として見てほしいと思います。

(天野委員)

参加希望性は新しい考え方だと思います。現在は、学校の規模によって種目が限られているが、選択肢が増えることで子どもの可能性が広がるため、自己肯定感につながり大切なことであると思います。対外試合などの目標も必要であるため、継続に向けて検討してほしいと思います。

(教育長)

これまでの学校教育では部活動を大事にしてきましたが、大きな転換期となっています。子ども達は、部活動を通して人間的に成長する部分が大きいため、教員も多忙な中でも熱意をもって部活動に注力してきました。今後は、同様の取組は無理であろうということで、考え方を

大きく変え、子どもたちに豊かな人生を送ってもらうために、どのような休日の過ごし方をすればよいのかという観点に切り替わってきています。「休日の部活動」から「休日の活動」に名前が変わり、部活動だけではなく、それ以外の活動にも広めていきたい。文化協会やスポーツ協会には全面的にご協力いただいております、学校現場では解決できない課題解決に向けて地域社会が力を貸してくださることに感謝しています。部活動では、大会が大きな目標となりますが、大会は土日に行われます。大会への参加に対する子どもの意識もさまざまですし、どのような開催方法にするかも含め検討する必要があります。本日は、現在の進捗状況について共有していただいたことはとてもいい機会だと感じています。

(市長)

他に何か委員の皆さんからございますか。よろしいですか。

それでは、ご協力ありがとうございました。

(市長)

ありがとうございました。それでは、「その他」で何かございますか。

(企画課長から東京事務所の活動について説明)

(市長)

小さな町ですが東京事務所を持っていることは各省庁にも評価いただき、ありがたく感じている。

他に何か委員の皆さんからございますか。よろしいですか。

本日の議事等はすべて終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

以上をもちまして、令和3年度田原市総合教育会議を閉会させていただきます。

本日は本当にありがとうございました。

(閉会 午後2時56分)